

ミスターラグビーの遺志継ぎ企画

平尾さん後輩 W杯観戦会



ラグビーワールドカップ(W杯)日本大会の決勝が行われる11月2日、世界遺産の下鴨神社(京都市)でパブリックビューイング(PV)が開催される。「ミスターラグビー」と称された故平尾誠二さん(写真)とプレーした元選手らでつくる実行委員会は「京都で世界中のファンがW杯を観戦する」という、平尾さんの見たかった景色を実現し

元神鋼選手 京都で11月開催

たい」としている。

実行委員長の杉本慎治さん(55)は、日本代表監督などを歴任し、2016年に亡くなった平尾さんの2学年後輩。京都・伏見工高や同志社大、神戸製鋼と共に歩み、日本一を達成した仲間だ。

下鴨神社の境内にある「あやひ紘の森」は、1910年に慶応義塾(現慶応大)の学生が旧制三高(現京大)の学生にラグビーを教えた場所で、関西のラグビー発祥の地とされる。「京都にもW杯のレガシー(遺産)を残したい」と、実行委が会場に選んだ。当日は特設会場を設け、約

500席を用意する。開催費用約790万円のうち、300万円を13日から始めたクラウドファンディングで集める。1人1万円の寄付でPVに招待し、寄付のみも受け付ける。

寄付金が開催費用を上回った場合、平尾さんと親交が深かった山中伸弥さんが所長を務める京大IPS細胞研究所に全額寄付するという。

詳細はウェブサイト(<http://ps://mitatekyoto/kp>)まで。

